

## フットサル審判員のシグナル

主審や第2審判、第3審判、第4審判およびタイムキーパーは、それぞれの判定やタイムアウトなどの手続きを、シグナルをもって合図する。シグナルは、競技者のみならず、審判員同士、観客、競技場にいるすべての関係者が、その判定などがどのようなものであったのが理解できるように、単純で明確に示す。

これらのシグナルに加えて、判定の理由などについて簡単なジェスチャーや言葉を用いて的確に説明することもゲームコントロールに役立つことになる。しかし、無意味なまたは過度のジェスチャーはかえって混乱を招き、品位を落とすことになる。ジェスチャーを示す場合、明快で的確であることに十分留意する。

### キックオフ

ベンチサイドに位置する主審あるいは第2審判は、一方の腕をキックオフするチームの攻撃方向に向け、腕をほぼ水平に伸ばす。

主審・第2審判は、キックオフを行う競技者を除いて、両チームの競技者が自分のハーフにいて、相手チームの競技者がボールから少なくとも3m離れていて、ボールがセンターマーク上に静止していることに留意する。



### キックイン

主審・第2 審判は、一方の腕をキックするチームの攻撃方向に向けやや斜めに伸ばす。



相手競技者がボールから少なくとも5 m離れていて、ボールがタッチライン上に静止していることを留意する。

## フットサル審判員のシグナル

ゴールクリアランス時のポジション  
および 4 秒のカウント



### ゴールクリアランス

主審・第2 審判はエンドラインに近い側の腕を前方に上げてペナルティーエリアの方向を示し、ゴールクリアランスが行われることを示す。

## フットサル審判員のシグナル



### コーナーキック

主審・第2審判はエンドラインに近い側の腕を伸ばして自分に近い側のコーナーを指し、コーナーキックが行われることを示す。



## フットサル審判員のシグナル



### 直接フリーキック

主審・第2審判のいずれかがキックが行われる方向に向けて一方の腕を水平に伸ばす。ファウルが累積ファウルである場合、他方の手でピッチ面を指し、第3審判、第4審判およびタイムキーパーにそれが累積ファウルとして数えられることをはっきりと知らせる。

### 間接フリーキック

主審・第2審判は、一方の腕を頭上に上げて、間接フリーキックであることを示す。主審・第2審判は、キックが行われ、そのボールが他の競技者に触れるか、またはアウトオブプレーになるまで、そのまま腕を上げ続ける。



間接フリーキックは、主審、第2審判両方が片手を上げて示す。



### ペナルティーキック

主審・第2審判は、はっきりとペナルティーマークを指す。ペナルティーマークまで走って行く必要はない。

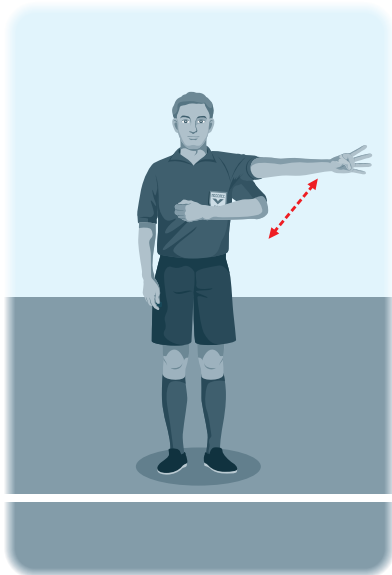
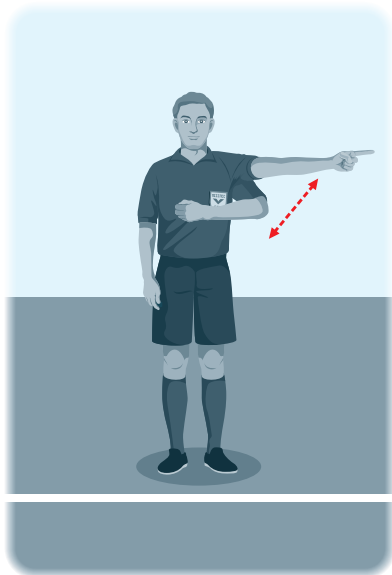
(ペナルティーマークからゴールを指さない)



### 5つ目累積ファウル

第3審判は5本の指を広げながら腕をあげ、主審・第2審判、それぞれのチームベンチなどに、5つ目の累積されるファウルが行われたことを明確に示す。

## フットサル審判員のシグナル



### 4 秒のカウント

キックイン、コーナーキック、ゴールクリアランス、フリーキック、およびボールがインプレー中の自分のハーフ内でのゴールキーパーのボールコントロールの際、主審・第2審判は、片腕を身体の前から横に水平になるまで振ると共に、指を一本、一本伸ばして、4秒をカウントする。

4秒を経過した場合、笛を吹いて、4秒を超えて時間を費やしたことを示す。



## フットサル審判員のシグナル

### アドバンテージ

直接フリーキックに値するファウルに（累積ファウル）対してアドバンテージを適用した場合、アドバンテージを適用した主審・第2審判がタイムキーパー・テーブルの前（4～5 m前）で累積ファウルにアドバンテージを適用したことを示す。

アドバンテージを適用した累積ファウルのシグナルの後、どちらのチームに幾つのファウルを累積するのかを示す。

●直接フリーキックに値するファウルがあった場合、両手でアドバンテージのシグナルを示す。



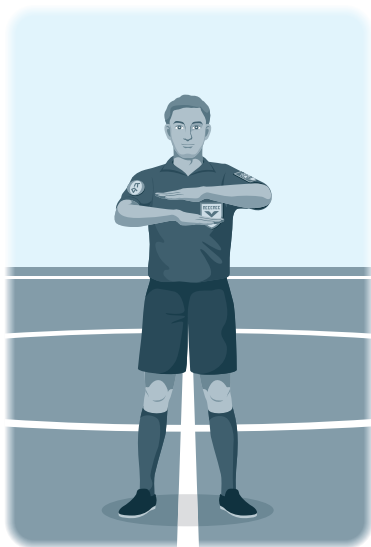
### タイムアウト

第3審判は両手を用いて「T」の形を作り、タイムアウトが取られることを示した後、タイムアウトを取るチームの方向に一方の腕を水平に伸ばす。

●間接フリーキックに値するファウルがあった場合、片手でアドバンテージのシグナルを示す。

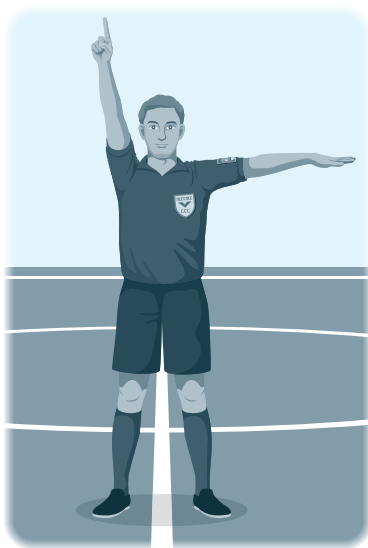
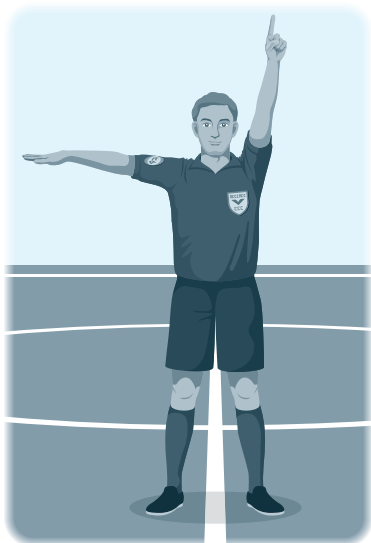


## フットサル審判員のシグナル



### アドバンテージ適用後のファウルの累積

直接フリーキックに値するファウル（累積ファウル）に対してアドバンテージを適用した場合、アドバンテージを適用した主審・第2審判がタイムキーパー・テーブルの前（4～5 m前）で累積ファウルにアドバンテージを適用したことを示す。



アドバンテージを適用した累積ファウルのシグナルの後、どちらのチームに幾つのファウルを累積するのかを示す。



### 警告と退場

主審・第2審判は、警告（退場）される競技者、交代要員またはチーム役員のみならず、第3審判、第4審判またはタイムキーパーなどがはっきりと判るようにイエローカード（退場の場合は、レッドカード）を上にあげて、警告（退場）を示す。



### 同じ試合の中で2つ目の警告による退場

主審・第2審判は、一方の手でイエローカードを示した後、もう一方の手でレッドカードを上にあげて示し、同じ試合の中で2つ目の警告に値する反則を行ったことで退場を命ずることを示す。

## フットサル審判員のシグナル



### 主審と第2審判の協力

主審と第2審判がシグナルでそれぞれの判定を合図したときは、お互い必ず目で確認を取る（アイコンタクト）。

\* 間接フリーキックは、主審、第2審判両方がそれぞれ片手を上げて、間接フリーキックであることを示す。



### ドロップボール

腰の高さから、手のひらにのせたボールを放しピッチ面へ落下させる



## ドクターやトレーナーの入場を許可する合図

負傷者の対応に用いられるシグナル。これらのシグナルはフットサル審判員のための実践的ガイドラインに示されているものではないが、競技者が負傷し、ドクターやトレーナー、あるいは担架が必要な場合、これらのシグナルを第3審判やチーム役員のみならず、周りの関係者にもわかりやすいように示すことが大切である。



## 担架の合図

## フットサル審判員のシグナル



### タイムアウトの要求

第3 審判は、チームの役員からタイムアウト要求のための用紙を受け取り、タイムキーパーにタイムアウトの要求があったことを知らせる。



### 退場者発生時の対応

第3 審判は、退場を命じられた競技者に代わる交代要員がピッチに入場できる時間を示す用紙をチーム役員に手渡す。

## フットサル審判員のシグナル



### 得点の合図

エンドライン側にいる主審・第2審判は、センターマークの方向を指す。

### 得点の合図（第3審判または第4審判）

パワープレー時に第3審判または第4審判が得点を確認した場合には、片手を上げて示した後、センターマークの方向を指す。



# フットサル審判員のシグナル

タイムキーパーおよび第3 審判および第4 審判に得点者の番号を伝えるときのシグナル



1 番



2 番



3 番



4 番



5 番



6 番



7 番



8 番



9 番



10番



11番



12番



13番



14番

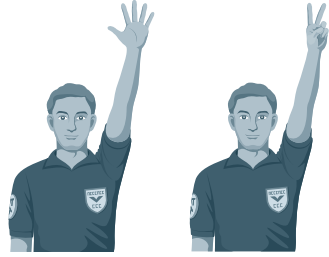


15番

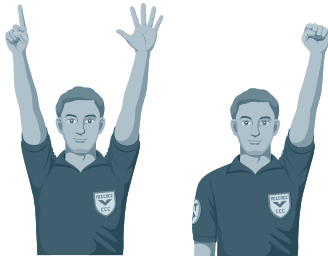
# フットサル審判員のシグナル



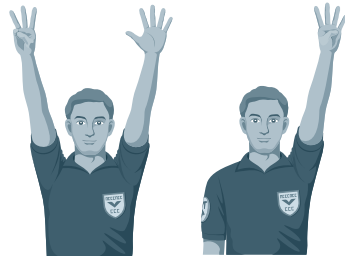
(ステップ1) (ステップ2)  
30番



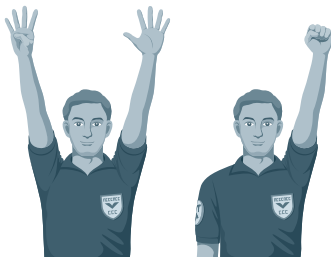
(ステップ1) (ステップ2)  
52番



(ステップ1) (ステップ2)  
60番



(ステップ1) (ステップ2)  
84番



(ステップ1) (ステップ2)  
90番



(ステップ1) (ステップ2)  
96番